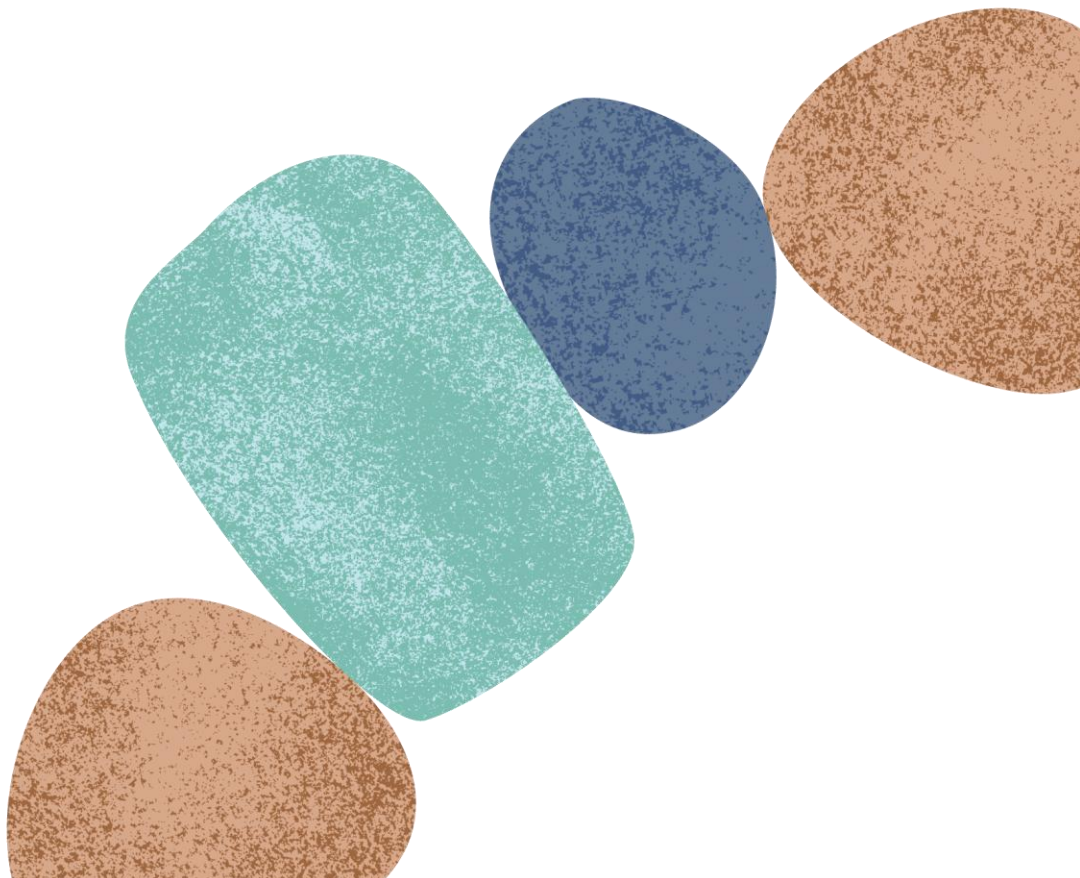




アルケア株式会社
会社案内 2026-2027



ベストケア創造企業として 健康で豊かな医療福祉社会を実現する

アルケアは、2025年に創業70周年を迎えました。

「ケアをする人とケアを受ける人」双方の視点から、褥瘡・創傷、看護、ストーマ、整形外科の4つの専門領域で長年培ってきた技術力を活かし、真に必要とされる製品・情報・サービスを提供できるように、より一層努めてまいります。

また、今後の事業のさらなる発展を目指し、高い市場成長が見込まれる海外事業を拡大していきます。私たち独自の視点から生まれた製品で、海外の医療の現場や患者さんのケアの向上に広く貢献していきたいと考えております。

そのために、新たな生産拠点の設立をはじめとする大型設備投資やグローバル市場で活躍できる人財の採用・育成を加速し、海外事業を次なる柱とすべく育てていく所存です。

創業より志してきた「親切的な製品をつくる」ことを時代を超えてこれからも受け継ぎ、ケアすることの可能性をもっと豊かに、ケアを受けることをもっと前向きにできる明日の形を目指し、さまざまなステークホルダーの皆さまと連携・協力をしながら、健康で豊かな医療福祉社会の実現に貢献してまいります。

医療従事者（ケアをする人）と患者さん（ケアを受ける人）双方のニーズに迫ることで、整形外科領域からスタートした事業は、看護、ストーマ、褥瘡・創傷と、既存の事業に関連した領域へと展開することにより、ケアの革新を続ける医療現場の課題解決を図り、提供価値を拡大してきました。妥協なく磨き抜いた製品・情報・サービスを、日本の隅々、そして海外にも広げていきます。

1953

国産初の石膏ギプス包帯「スピードギプス」

看護師が包帯に石膏を直接塗り込むという長時間の手作業を要し、患者さんにとっては重い・固まりづらいという石膏ギプスの課題を目の当たりにした創業者は、その解決を決意。「看護師さんの手間と苦勞をなくし、患者さんへの手あての時間に充ててもらいたい」という強い想いにより、ノウハウが全くない状態から試作・検証を重ね、開発に成功したことが専門領域の一つである整形外科領域の事業の始まりです。医療従事者と患者さん双方に寄り添って「親切的な製品をつくる」という創業の志は、ものづくりの起点として今なお受け継がれています。



1955

「有限会社東京衛材研究所」を設立し、創業

1957

オールコットン製「弾力包帯」(現エラスコット)の織布技術を開発

ギプスなどを巻くための包帯として、身体の輪郭や関節の動きに沿う伸縮包帯を開発。「看護の省力化や技能習得の負担軽減」「患者さんの苦痛を和らげる」といった、医療従事者と患者さん双方の視点に立った看護領域の製品を開発・展開することで、医療現場の課題に向き合ってきました。



1965

国産初の粘着式ストーマ装具「ラパック」を開発

当時のオストメイト※は、ストーマ造設後にお椀をベルトで固定したような装具で排泄物の処理を行っており、漏れと臭い、皮膚障害に悩まされ、遠出を控えて家族にも気を遣う日々を送っていました。この実態を必死に訴えた国立がんセンター看護婦長(当時)の「日本の患者さんのために、国産品を作ってほしい」という思いから、託された1枚限りの海外製品見本をもとに、ストーマ装具の開発に着手。かぶれにくい粘着剤の開発や排泄物を溜めるための漏れにくいストーマ袋の圧着方法の試験を繰り返し、国産初の粘着式のストーマ装具「ラパック」を完成させ、ストーマ領域の事業が始まりました。

※さまざまな病気や事故などにより、お腹に排泄のための「ストーマ(人工肛門・人工膀胱)」を造設した人



1992

社名を「アルケア株式会社」に変更

2012

第4回世界創傷治療学会連合会議に ゴールドスポンサーとして参画

整形外科、看護、ストーマに続く第4の事業領域として参入した褥瘡・創傷領域での治療においては、長期間にわたる多方面からのケアが必要であり、医師だけではなく、看護師、栄養士など多職種によるチーム医療が求められるようになりました。日本で開催された国際学会に協賛することにより、学術の振興、そして患者さんへのより良いケアを提供することにも貢献してきました。



2020

中国に現地法人「愛楽康医療器械(上海)有限公司」を設立

医療従事者・患者さん双方の視点で磨き抜かれた製品や情報、サービスを、日本のみならず海外へ。なかでも、中国市場へはストーマ領域を主軸とし、1990年代から輸出を開始し、アルケアに共感いただいたパートナー企業とともにビジネスを展開してきました。市場への本格参入を目指して2020年に現地法人を設立し、日本のきめ細かなケアを海外とつなぐことで、現地の医療従事者のニーズにお応えし、オストメイトが自分らしく日常生活を過ごせることを目指しています。



2023

持ち株会社「オルトモスホールディングス株式会社」を設立、
グループ経営体制に移行



沿革の詳細は
こちらからご覧いただけます。

アルケアの歩み

<https://www.alcare.co.jp/company/history/>



つなぐ手あて、ひらくケア。

良質なケアは、あらゆる場面で必要です。
場所を問わず、時間を問わず
的確な手あてを切れ目なく届けることが
今、求められています。

私たちは症状に立ち向かう人や
傍らで寄り添い支える人、
どちらも等しく思いやり
それぞれの不便や不安をつぶさに察知し
磨き抜かれた製品や情報、サービスを
社会の隅々にまで広げてゆきます。

ケアすることの可能性をもっと豊かに。
ケアを受けることをもっと前向きに。
私たちが見据えるのはそんな明日の形です。

アルケアの理念体系



会社情報

社名

アルケア株式会社

本社

東京都墨田区錦糸1-2-1
アルカセントラル19階

創業

1955年

設立

1973年

資本金

9,000万円

事業内容

医療機器、医療用消耗材料の
開発、製造、販売および輸出入

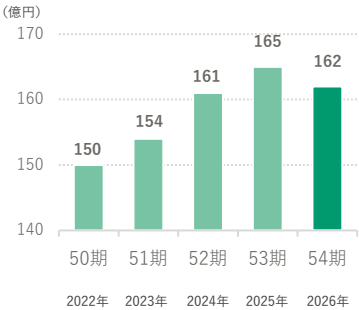
事業所

医工学研究所（東京都墨田区）
千葉工場（千葉県千葉市）
物流センター（東京都江戸川区、大阪府豊中市）
営業所（札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡）

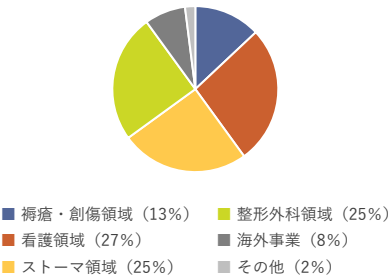
役員

代表取締役会長 鈴木 輝重
代表取締役社長 伊藤 克己
取締役 栗山 昭太郎
社外取締役 野口 吉昭
社外監査役 宿谷 忠司
社外監査役 桑原 麻美

売上高推移



事業領域別構成比



医療現場・患者さん・地域社会との接点

取扱製品数



約 300 製品

2,000 アイテム

うち他社との販売提携 29 製品

取引先



病院 約 6,900 施設

診療所 約 25,000 施設

販売店 約 340 社



医療従事者との面談

延べ 46,000 人／年



コールセンター・
お客様相談室へのご相談

約 55,000 件／年



地域連携支援活動

20 エリア以上
参加施設・事業所 1,500 施設以上



医療関係者向け情報誌

「アルメディア」1997年創刊

創刊より約30年
通算120号以上



オストメイト向け情報誌

「向日葵」2020年創刊

約 1,000,000 部発行



育児休業取得率

男性 76.4 %

女性 100 %

人財



社員数

559 名

男性 63.5 % 女性 36.5 %



平均勤続年数

14.9 年

INDEX | 目次

1

ケアの可能性を豊かにする 私たちの事業

- P11 より良いケアの共創
- P12 4つの専門領域
- P13 褥瘡・創傷領域（ウンドケア）
- P14 看護領域（ナースینگケア）
- P15 ストーマ領域
（オストミー&コンチネンスケア）
- P16 整形外科領域
（オルソペディック&リハビリテーション）
- P17 海外展開

2

世の中にない 必要なものを作る

- P19 開発の流れ
- P20 コア技術
- P21 製品開発／事例
エスアイエイド®
- P22 アドプロテープ®・クッション
- P23 バスラック®シール
- P24 リストラップ・TFCC

3

安定供給と安心品質

- P26 生産体制
- P27 安定供給体制

4

ケアの未来を ひらく取り組み

- P29 より良いケア創出への貢献
- P30 オストメイトを取り巻く
社会課題の解決

1

ケアの可能性を豊かにする
私たちの事業

- P11 より良いケアの共創
- P12 4つの専門領域
- P13 褥瘡・創傷領域（ウンドケア）
- P14 看護領域（ナーシングケア）
- P15 ストーマ領域（オストミー&コンチネンスケア）
- P16 整形外科領域（オルソペディック&リハビリテーション）
- P17 海外展開

学会・団体への研究助成、各機関との共同研究などを通じて、医療・ケアのニーズにお応えする製品・情報・サービスを開発し、それらをケアの現場に途切れることなく安定的に提供するために、仕入先企業・販売店との定期的なコミュニケーションや長期にわたるパートナーシップ構築に努めています。

ケアの現場が病院にとどまらず、地域社会や患者さんやご家族の日常生活の範囲まで広がるなかで、病院の医療従事者と訪問看護ステーションや介護施設など地域でのケアを担う医療・介護職といった多職種の皆さまがつながり、医療・療養のあらゆる場で質の高いケアが実現できるようサポートしています。

アルケアは、さまざまなステークホルダーの皆さまと連携・協力しながら、高齢社会におけるケアの課題に向き合い、ともに解決を目指してまいります。



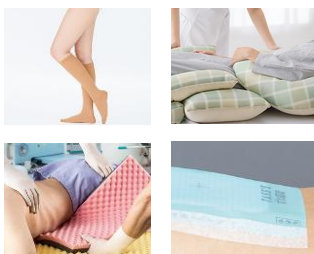
健康寿命の延伸やQ O L 向上を目指し、予防、診断から治療に続くリハビリ、社会復帰まで、切れ目のないケアを実現し多様化する課題に応えるため、4つの専門領域で事業を展開しています。

褥瘡・創傷領域

ウインドケア



急性創傷ケア、下肢創傷ケア、褥瘡ケアの3つの軸から、予防・診断・治療・再発防止を支援し、手術後から在宅でのセルフケアまでをサポートします。



看護領域

ナーシングケア



セーフティケアとスキンケアの両軸から、患者さんの安全・安心・安楽とダメージを受けやすい皮膚を守り支えるケアの実現を支援します。また、看護業務の「標準化」や「省力化」を、製品からだけでなく教育支援の側面からもサポートしています。



ストーマ領域

オストミー&
コンチネンスケア



排泄管理、生活支援の両軸から、オストメイトのストーマ周囲の管理とストーマ造設による日常生活・社会生活における変化への適応をサポートします。



整形外科領域

オルソペディック &
リハビリテーション



フラクチャーケアとジョイントケアの両軸から、骨折・関節疾患のケアプロセスにおいて医療手技および患者さんの生活の質向上を目指すケアの実現をサポートします。



製品・情報・サービスを通
じて目指すこと

幅広いラインアップで、
創（きず）の
トータルケアに貢献
+
医療現場と
患者さんをシームレスに
つなぐケアを提供

実現したい世界

医療機関から
介護施設・在宅
どのケアの
現場においても、
エビデンスに基づく
最適なケアの展開

外傷や術後創傷といった急性創傷、褥瘡や下腿潰瘍などの慢性創傷に対し、治癒の促進を支える製品を独自の技術を活用し追求してきました。手術直後からセルフケアまで、患者さんにとって継続性のある適切なケアを行うため必要な製品のラインアップとともに、急性期から慢性期までをシームレスにつなぎ、地域包括ケアにおける多職種連携の課題に向き合っています。

創傷用シリコンゲル ドレッシング



独自のシリコン粘着技術で皮膚に密着し、ドレッシング材の貼付から交換時までトータルに創傷へのダメージとストレスを軽減します。

弾性ストッキング

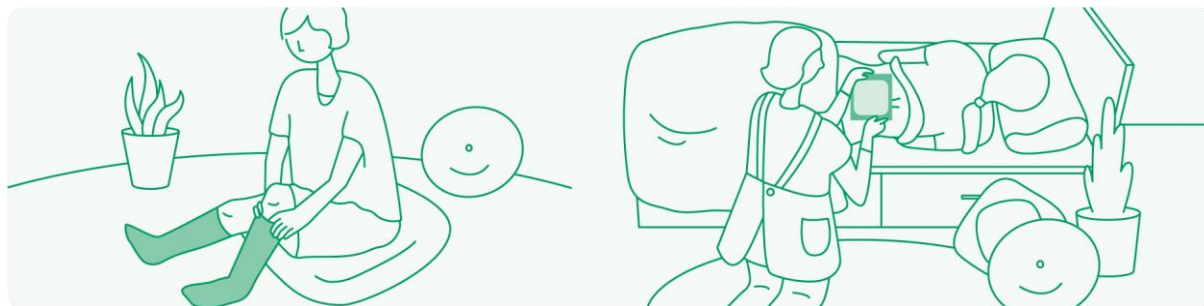


日本人の体型に合わせた設計で、快適なフィット感が続き下肢静脈血流を促進いたします。
(3種類の圧迫圧から選べます)

ハイドロコロイド創傷被覆材



透明性と吸収能に優れた創傷被覆材。処置を効率化し、急性創傷に適した治癒環境を提供します。



生活の場でも、エビデンスに基づく最適なケアの実現をサポートします。

製品・情報・サービスを通じて目指すこと

看護業務の
標準化・省力化
+
医療現場の
教育をサポート

実現したい世界

ゆとりと安心を
医療現場と共創し、
看護師の方々が
患者さん中心の看護を
実現する

医療の領域に関わらず、全ての治療・ケアに接点をもつ看護領域において、看護師の方々が患者さん中心の看護を実現するため、「ゆとりと安心」を医療現場と共創します。そのために、製品やサービスを通じて業務の「標準化」や「省力化」、そしてそれらを遵守、継続していくための教育支援を行い、共に考え寄り添いながら看護課題を解決し医療安全に貢献します。

カテーテル固定 補助テープ



現場の声から生まれた、カテーテル管理時の準備・固定・観察・交換を効率化し、経験やスキルを問わず、標準化をサポートし、安全な医療の提供に貢献します。

弾性ストッキング



つま先やひざなどのポジションマーカーにより適切に装着することができます。動きに追従するやさしい生地、それにより圧迫リスクを減らし適切なケアを実現します。

スキンケア製品



ダメージを受けやすい肌のために、皮膚バリア機能を支える保清・保護に保湿機能をプラスしたトータルスキンケアで、効率的で質の高いケアの提供を支援します。



看護業務の標準化と省力化により、ゆとりのある医療現場を実現し、より良いケアができる環境の創出や医療安全に貢献します。

製品・情報・サービスを通
じて目指すこと

日々のケアを支える
+
自分らしい
日常生活が送れる
情報や機会を提供

実現したい世界

生涯にわたって
自由に、安心して
過ごせる毎日

日本人のライフスタイルに合った使いやすさや安心を追求したストーマケア用品を展開するとともに、オストメイトが抱える不安を少しでも解決したいという想いから、日常生活を支える製品・情報・サービスの充実も図っています。オストメイトの皆さまと共に歩み、自分らしいあしたを実現いただけるよう「ストーマのある生活」に深く関わり寄り添っていきます。

ストーマ装具



皮膚の健康を追求し、「セラミド」配合の皮膚保護剤を使用したプレミアムモデルや、使いやすさを追求したベーシックモデルなどを展開しています。

ストーマ装具用潤滑消臭剤

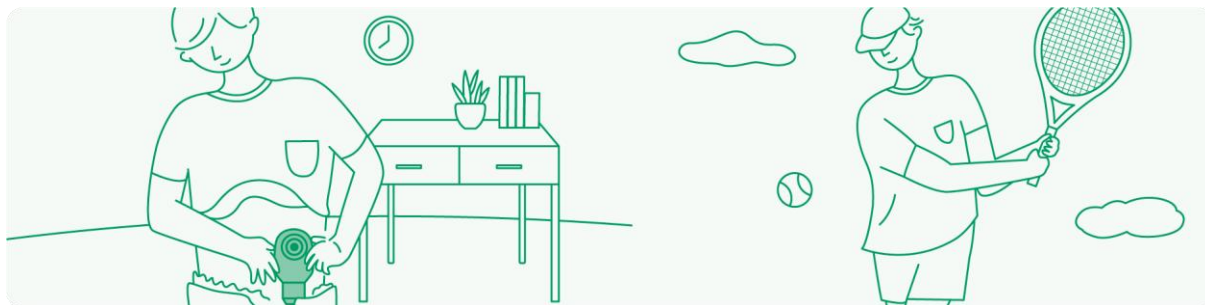


便の排出をスムーズにする潤滑性、便処理時の臭いの拡散を抑える消臭性、簡単に使用できる操作性で、より快適なストーマケアをサポートします。

自由で安心できる 日常生活のサポート



「ストーマケアガイド」、情報誌「向日葵」の発行、日帰り温泉ツアー開催、工場見学の実施など、製品に留まらない日常生活を支える情報・サービスを提供しています。



日々のケアと日常生活を支援する製品・情報・サービスを提供し、ストーマ造設前と変わらない自分らしい毎日の実現をサポートします。

製品・情報・サービスを通じて目指すこと

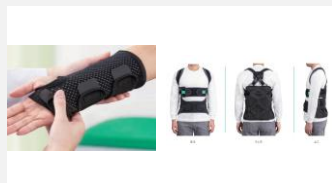
「静と動」の技術で
安心・安全な
医療環境を実現
+
治療の満足度と
日常生活での
セルフケアの快適性を
高めるサポート

実現したい世界

運動器疾患の治療と
ケアをつなぎ、
医療従事者と
患者さん双方の
ありたい医療の実現へ

国産初のギプス包帯の開発・製造に成功して以来、骨折におけるギプス製品および治療原理に基づいた支持・固定用品により、運動器の医療を支えてきました。「ギプスをもっと快適に」をコンセプトとした新しいギプスの可能性や、下肢筋力のサポートなど、人間が本来持つ運動機能の維持・強化のための課題に向き合い、患者さんのQOLと健康寿命の向上に貢献します。

カバー付き キャストシステム



その人に合わせてその場ですぐにギプス固定ができる、患者さんと医師の双方に満足度の高い、新しいキャストシステムを提案。独自形状のキャストステータと専用のステータカバーで、ギプス固定のストレスフリーとギプス生活のQOL向上を提供します。

母指CM関節用サポーター



母指（親指）CM関節を良肢位※に保つための機能と日常生活で手指動作を妨げにくい設計を両立し、母指（親指）の付け根の関節をサポートします。

※関節が動かなくなった場合でも、日常生活において支障の少ない肢位

総合治療用電気刺激装置



ベルト電極で、下肢全ての筋肉を動かし随意運動（有酸素運動、筋力トレーニング）を代用できます。運動することが難しかった方などの、リハビリテーション課題を解決します。



患者さんに不便がなく、日常生活のなかで適切な治療が実現できるようサポートします。

海外20カ国を超える国や地域で、製品・情報・サービスを展開。

日本で培われたきめ細かなケアを、世界の医療現場や患者さんに広げていくことを目指します。

オストミーケア領域

褥瘡・創傷領域

看護領域

放射線治療用
患者体位固定具

中国



現地法人「愛楽康医療器械（上海）有限公司」を設立し、医療従事者のニーズに応え、オストメイトのケアの向上に貢献

〈主な取扱製品〉

- ・ ストーマ装具

アジア・オセアニア



付加価値の高い特色ある製品の提供により、医療の質・ケアの向上を目指す

〈主な取扱製品〉

- ・ 創傷被覆材
- ・ サージカルテープ
- ・ ストーマ装具

世界各国



患者さんの動きを最小に抑えるカスタマイズ可能な固定クッションにより、放射線治療の生産性と安心・安全に貢献

〈主な取扱製品〉

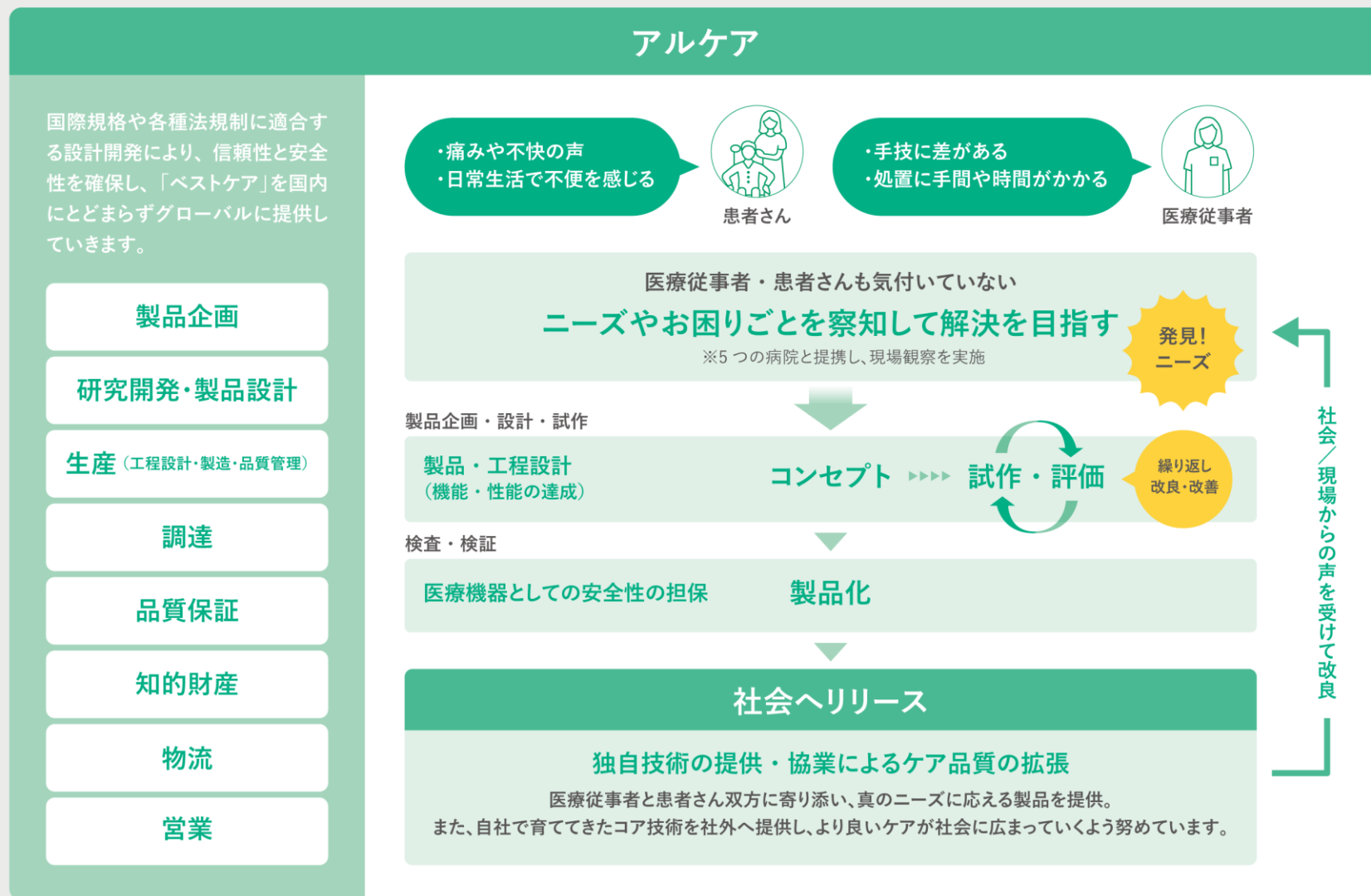
- ・ モールドケア

頭頸部画像診断・放射線治療用患者体位固定具
一般医療機器/医療機器届出番号：13B1X00207000032

2

世の中にな
い必要なものを作る

- P19 開発の流れ
- P20 コア技術
- P21 製品開発／事例
エスアイエイド®
- P22 アドプロテープ®・クッション
- P23 バスラック®シール
- P24 リストラップ・TFCC



基盤となる研究開発体制のもと、事業の根幹を担う技術としてコア技術を育成してきました。患者さんに寄り添う医療を実現するために、人と医療をつなぐインターフェース技術を軸に独創性のある新技術を融合させることで、医療用として高水準な要求事項に応え、医療機関や在宅ケアなどの療養の現場で幅広くご使用いただける多様な製品・サービスを開発しています。

粘着技術

医療用・皮膚用の粘着設計

物理的視点、生化学的視点等の人体へのさまざまな影響を考慮し、製品の安全性と有効性を確立します。それにより、医療従事者の手技を標準化・省力化し、皮膚に優しく安全性の高い粘着技術を実現します。

特許取得数
約 **70** 件

チューブライン固定



創傷用シリコーンゲル ドレッシング



ストーマ装具

創傷被覆材



オストミーアクセサリ



カバー付きキャストシステム



材料設計・加工・複合化技術

樹脂・フィルム・テキスタイル

皮膚や運動への制限をより少なく、ストレスフリーを目指した機能性材料の選定、表面処理加工等により、発汗・蒸れ・臭い・長期固定などに対する快適性を実現します。

評価技術

機能・性能 安全性・ユーザビリティ

ケアの手技の標準化・省力化に貢献する製品設計を行い、要求される生体適合性や製品機能を検証し、医療現場での有効性評価を重ね、有効性・安全性を確実なものとしします。

STORY 1

私たちは創業以来「親切な製品をつくる」ことを志してきました。
使命感と誇りを強く持ち、ニーズに向き合い磨き抜いてきた製品の開発事例をご紹介します。

現場のニーズ

ドレッシング材は、剥離時に
治りかけの傷口まで剥がしてしまう可能性がある



医師・看護師

ドレッシング材の
交換時の痛みが不快

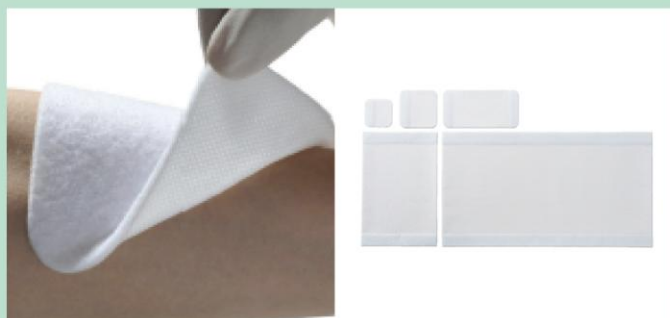


患者さん

アプローチ

快適なケアを実現するため、使用者のニーズを反映させた製品を開発する

製品



創傷用シリコーンゲルドレッシング エスアイエイド® (2010年発売)

開発当時の国内創傷治療のトレンドはモイストウンドヒーリング(湿潤療法)で、創傷被覆材を使用することが当たり前。そんな中、帝京大学医学部附属病院 高度救命救急センターの池田 弘人先生(当時)から「日本の医療現場や環境に合うものを」と助言いただいたことをきっかけに、先行技術も見つからない中、試作・検証を何度も繰り返し、整形外科領域での自社技術をヒントにシリコーン材を使った独自の技術で開発に辿り着きました。

一般医療機器／綿状創傷被覆・保護材(熱傷被覆・保護材)／医療機器届出番号：
13B1X00207000052

開発思想

前例に左右されず、世の中で真に求められるものづくりを追求する

STORY 2

現場のニーズ

使用するとき、知らないうちに手間をかけていた



医師・看護師

剥がすときの刺激が強い



患者さん

アプローチ

使用者の顕在的なニーズだけでなく潜在的なニーズも汲み取り、考え抜いた構造設計

製品



シリコーンゲルテープ

アドプロテープ®・クッション (2021年発売)

現場の声にしっかりと耳を傾け、「刺激の強さ」に対しては、自社既存品の〈エスアイエイド®〉で高評価を得ていた「シリコーン粘着剤」によって皮膚への優しさを追求して解決できると考えました。さらに使用シーンを調査するなかで、ケースから取り出すひと手間をなくし、剥離紙からの剥がしやすさなどの「医療現場での使いやすさ」に着眼。当事者でも気付いていない潜在的なニーズを察知し、テープを化粧箱から引き出して、用途に応じた大きさ・形に自由に加工できるという使いやすさにもこだわり開発を進めたことにより、医療現場で患者さんに安心して使用いただける製品となりました。

開発思想

看護の手技の標準化・省力化への貢献と、
患者さんのニーズ実現を併せることにより、ケアの可能性を広げる

STORY 3

現場のニーズ

装具が濡れるし目立つ、
人に見られたくない



オストメイト

家族で以前のように
温泉旅行に行きたい



ご家族

アプローチ

人目を気にせずに入浴を楽しんでもらうため「目立たせない」にこだわる

製品



入浴用シール

バスラック®シール（2023年発売）

オストメイトの日常生活の困り事に関するアンケートでも、入浴は常に上位にあり、アルケアのお客さま相談室へも多くの悩みが寄せられていました。入浴に関する課題を解決して人目を気にせずリラックスして入浴いただきたいという思いから、ストーマ装具を覆うための入浴用防水シールの開発が始まりました。入浴用シール自体は先行品があるものの、「肌に近い色のシールを貼ると逆に目立つ」などオストメイトから課題を収集して検討を進めていたところ、状況が進展したのはテレビ番組で取り上げられていた「錯視効果」を目にしたことでした。視覚情報処理研究で著名な東京大学大学院 四本 裕子教授（当時准教授）へ相談し、さまざまなテクスチャ模様を合わせて100以上も試作と検証を繰り返し「まだら模様」が凹凸を最も目立たせない結果となり採用しました。しかし、ページュー色になってしまうなど印刷に苦戦し、3年かけてデザイン修正や印刷方法を見直し「まだら模様」の再現に成功し製品化に至りました。

開発思想

オストメイトにとことん寄り添い、課題解決とニーズの実現を追求する

STORY 4

現場のニーズ

症状改善のための固定力が欲しい



医師・看護師

日常生活を妨げず
片手で装着できるようにして欲しい

患者さん

アプローチ

共同研究で挑んだ固定力を活かす設計と患者さんの意見を反映した使用感の追求

製品



手関節サポーター

リストラップ・TFCC (2023年発売)

2004年に発売した〈リストケア・プロ〉は、慶應義塾大学(当時)に在籍していた中村 俊康先生との共同開発ですが、当時はTFCC(三角線維軟骨複合体)の認知度が低く手首の汎用品として発売しました。その後、TFCCの認知度が上がり「〈リストケア・プロ〉の開発途中で検討していたような TFCC 専用品を開発したい」と考えられた中村先生からアルケアにお声がけをいただきました。製品化には「TFCC周辺を保護するための固定力」と「日常生活を妨げない動きやすさ」の二律背反の課題を解決する必要がありました。そのために「共同研究による情報収集」と「患者さんの意見を反映した使用感の追求」の双方から妥協することなくディスカッションし、何度も試作品を装着して検証を行い、患者さんに負担なく装着し続けてもらえる製品を実現させることができました。

開発思想

医師と患者さんの双方のニーズを満たすケアの実現を追求する

3

安定供給と安心品質

P26 生産体制

P27 安定供給体制

持続可能な生産・供給体制

アルケアは国内（千葉県千葉市）に製造拠点を構えています。「ISO13485」認証を取得している自社工場にて、取引先との信頼関係を構築して安定的に原材料を調達し、ストーマ装具、創傷被覆材、ギプス用品などを製造しています。持続可能な生産・供給体制に関する考え方や厳しい品質管理基準をクリアするために、機械と併せて人による目視検査を徹底し、高品質な製品をお届けしています。



東西に物流拠点を構え、災害などいかなる状況においても安定供給を絶やさない体制を構築。近年多発する自然災害発生時には、行政機関・学会・業界団体などを通じた被災地ニーズに基づき、迅速に支援物資の提供を行っています。また、物流課題（2024年問題）に対応して医療用品の安定供給を維持するために、同業他社と共同配送を実施して物流プロセスの改善に取り組んでいます。

安定供給

物流センター（2拠点）

災害対策（BCP）

主要製品の3カ月分の在庫確保

〈東京〉
東日本物流センター〈大阪〉
西日本物流センター

共同配送の取り組み

安定供給を果たすために業界内で協力し、
2023年より共同配送も実施しています。

安定供給に向けて

両社商品をまとめ配送
（路線便）

納品先①

納品先②

納品先③

納品先④

納品先⑤

納品先⑥

ケアの現場



医療従事者



患者さん

B 社

物流センター

※この他にも、安定供給体制を構築・維持するさまざまな取り組みがございます。

4

ケアの未来をひらく取り組み

P29 より良いケア創出への貢献

P30 オストメイトを取り巻く社会課題の解決

アルケアは、将来にわたりより良いケアを持続的に提供していけるよう、ケアをする人、ケアを受ける人、そして未来を担う世代に向けた取り組みを行うことで、誰もが健やかで自分らしく生きられる社会の実現を目指しています。

ケアの向上と発展を目指して



研究活動支援

1989年から公益財団法人 整形災害外科学研究助成財団に「アルケア奨励賞」（2018年から「アルケア賞」に名称変更）を創設。また、2011年からは一般社団法人 日本創傷・オストミー・失禁管理学会に対して「アルケア技術・研究助成」を設け、ケアの向上と発展を推進しています。

ケアに携わる方々への情報発信

1997年に創刊した医療関係者向け学術誌「アルメディア」は、専門分野の研究者や看護の現場で活躍されている方の最新医療情報やその時々のトピックスを年間に3〜5号をお届けしています。医療現場における課題を事例と実際の対応策などを取り上げ、より良い医療が提供されることを目指しています。

安全で健康に働ける 医療・介護現場の実現をサポート



ケアを受ける方、ケアをする医療・介護従事者の皆様に
とって、より良い環境でケアを行うことができる製品・
情報・サービスの提案を行い、厚生労働省が推進する医師
の働き方改革・医療従事者の勤務環境の改善と医療を持続
的に提供できる社会の実現を目指しています。

※厚生労働省が設立した、全てのステークホルダーが一丸となり、働く人と
全ての人の幸せのために、安全で健康に働くことのできる職場環境の実現を
目指す「SAFEコンソーシアム」に加盟しています

「オストメイトのための日帰り温泉ツアー」の企画・催行

オストメイトの方々に安心して旅や温泉を楽しめるきっかけ作りと、旅館など宿泊業に携わる方々を含む社会に対してオストメイトに関する理解促進を目的として、近畿日本ツーリスト株式会社と共同で企画・催行しました。

また、ツアー内の温泉で参加者がモニター体験したストーマ装具を覆うための入浴用シール〈バスラック®シール〉は、令和6年能登半島地震の被災地にて、金沢市のストーマ装具販売店を通じて提供要請があり無償提供しました。断水が続く中で元日から入浴できていなかった被災地のオストメイトの方々が入浴用シールを使用して仮設の風呂や公衆浴場で入浴し、「入浴用シールがあるから気兼ねなくお風呂に浸かりましょう、と役場の方から声を掛けていただき感激して涙が出た」などの喜びの声をいただきました。

今後もオストメイトが外出や温泉などの公衆浴場での入浴に一步を踏み出すための支援やきっかけ作りをするともに、オストメイトの社会的認知向上・理解促進に継続して取り組み、誰もが自分らしく生活できる社会の実現に貢献してまいります。



温泉では、ストーマ装具を覆う入浴シールのモニター体験を実施。「他人の目が気になる、迷惑になるのを避けたい」という気持ちから遠慮している「自分のしたいこと」の実現を、製品の開発や具体的な機会の創出によってサポートしています。



自社工場では、製造工程の見学と製造体験、オストメイトの災害対策の講義を実施して「毎日使用しているストーマ装具の生産工程が分かり、嬉しい」という感想をいただきました。



ツアー後のアンケートでは、「他人の目を気にせず気兼ねなく入浴でき、身体だけでなく心まで温まった」や、参加者の9割が「外出や旅行、温泉に出かける自信がついた」と回答しました。

令和5年度東京都 「心のバリアフリー 好事例企業」に決定

「心のバリアフリー」に対する意識啓発などに取り組む東京都「心のバリアフリー」サポート企業として令和4年度第2期に登録され、令和5年度東京都「心のバリアフリー」好事例企業として決定しました。アルケアにおける「心のバリアフリー実践のための3つのステップ※」は、ケアをする人・ケアを受ける人の潜在的なニーズを察知して、磨き抜かれた製品・情報・サービスを提供し、ケアの可能性を豊かにしていくという企業の活動そのものです。障害がある社員による講演を通して、全社員が障害や心のバリアへの理解を深め、親切的な製品・情報・サービスを開発し、研ぎ澄ませていくことに活かしています。

※障害の社会モデルの視点でバリアを理解する、コミュニケーションをとる、適切な配慮を行う



アルケア株式会社

©ALCARE Co., Ltd. All rights reserved.

